

「シナリオ選択～私の基準と意見整理表」とシナリオとの関係について

下表は、前回(第4回会議)で使用した意見整理表の設問について、4つのシナリオはどのような立場をとるかの関係を整理したものです。

前回会議で使用した意見整理表の設問		各設問とシナリオとの関係			
		シナリオ A	シナリオ B	シナリオ C	シナリオ D
取り組み・対策の方向 (関係するシナリオ)					
1. 分別区分が「ごみ」か「資源ごみ」かに関係なく不要なものがでないように、消費行動や生活様式を改めること		賛成 (発生抑制を進める立場)			
2. 価格が上がっても、環境に配慮された製品(リサイクルしやすいものなど)を、普及させること		賛成 (ごみとなる前段階の取組み)			※民間主導のリサイクルで普及
3. 発生抑制のための買い物・消費行動	①飲料容器をリターナブルビンに統一すること	賛成 (ごみとせず繰り返し利用)			
	②買い物をするとき、レジ袋が有料で販売されること	賛成 (購入時にリサイクル費用を支払)	※使用禁止や課税などのルール化		賛成 (購入時にリサイクル費用を支払)
	③買い物をするとき、ばら売り・量り売りのお店を使い、適量購入を進めること	賛成 (ごみとなる前段階の取組み)			
4. 生ごみ	①生ごみは、「燃えるごみ」とするのではなくリサイクルするため、各家庭で分別すること	賛成 (生ごみリサイクル推進は共通のテーマ)			
	②生ごみリサイクルをする場合には、家庭や地域でできることを優先して取り組むこと。	賛成 (自主的取組)			賛成 (自主的取組)
	③生ごみリサイクルは、名古屋市全体でリサイクルのみちを作り、家庭や地域になるべく負担をかけない方法ですすめること。		賛成 (新たな資源として全リサイクル)		
5. 容器包装以外のプラスチック類	①容器包装以外のプラスチック類は、「不燃ごみ」とするのではなく、リサイクルするため分別すること	賛成 (民間主導でリサイクル)	賛成 (新たな資源として全市リサイクル)		賛成 (民間主導でリサイクル)
	②容器包装以外のプラスチック類は、焼却しエネルギーとして利用できるようにする(発電することなど)こと			賛成 (可燃ごみ)	
6. 事業系ごみ削減のための取組を強化すること		賛成 (特に中小企業を対象としたリサイクル推進は共通のテーマ)			
7. ごみの有料化	①ごみを減らすため、ごみの有料化を進めること	賛成 (発生抑制)		(賛成) ①か②のいずれか	
	②ごみを減らすため、ごみの有料化よりも、ごみ・資源の分別区分を守る指導の徹底を優先すること				
	③発生抑制を進めるため、資源ごみの有料化も進めること	※商品の購入時にリサイクル費用を支払	賛成 (発生抑制)	(無料)	※商品の購入時にリサイクル費用を支払
8. 焼却	①埋立量を減らすため、燃えるごみは焼却すること	発生抑制とリサイクルを進めることで焼却量や埋立量を減らす (焼却量や埋立量はC・Dより少ない)		リサイクルを進めることで焼却量や埋立量を減らす (焼却量や埋立量はA・Bより多い)	
	②環境影響を減らすため、リサイクルやごみ減量の推進によって焼却を可能な限り減らすこと				
9. 環境への影響を考えたときに、二酸化炭素の排出量の削減をもっとも重視すること		※シナリオは、二酸化炭素はもちろん、ごみや資源の量、埋立量、処理やリサイクルにかかる費用など、種々の要素を重視			
10. 埋立量をさらに減らすこと		賛成 (さらなる埋立量の減量は共通のテーマ)			
11. 取組主体	①ごみの処理・資源化のルールなどは、行政が市民の意見を聞いて決め、市民はそれを理解し協力すること	賛成 (行政による施策・ルールを市民・事業者等は理解・協力)			
	②市民・NPO・事業者等がもっと主体的に資源化のルールや処理の仕組みづくりに参画し行動していくこと	賛成 (市民・事業者等が主体的に参画・協働)			賛成 (市民・事業者等が主体的に参画・協働)
12. (自由記入) ごみ分別細分化				※リサイクル推進の立場から賛成	
13. (自由記入) 分別緩和		※しみんの主体的な協議により“緩和”とすることも可			※しみんの主体的な協議により“緩和”とすることも可
14. (自由記入) ごみにならない製品作り		賛成 (設問2と関連)			
15. (自由記入) 教育		賛成 (教育の推進は共通のテーマ)			
16. (自由記入) リース・レンタル		賛成 (繰返利用や機能のみを買うことでごみとしない)			